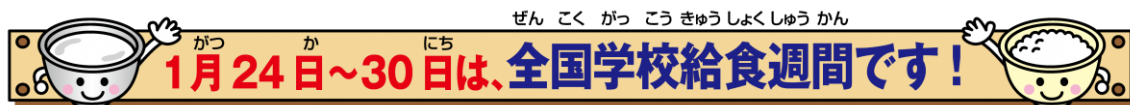


1月 給食だより

令和6年12月
編集発行
守口市教育委員会
守口市学校給食協会



学校給食は、明治22年、山形県の小学校で始まりました。戦争によって中止されながらも、さまざまな歴史をたどり、現在まで続いています。「全国学校給食週間」は、戦後にアメリカの支援団体からの援助により、学校給食が再開されたことを記念して定められたもので、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的としています。

現在の学校給食は、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に

つけるために、さまざまなことを学ぶ「生きた教材」としての役割を担っています。



学校給食の移り変わりを見てみよう！

<p>明治22年</p> <p>私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。</p>	<p>戦後(昭和20~30年代)</p> <p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>現在</p> <p>旬の食材や郷土料理、行事食、世界の料理などを取り入れた、食育の教材となる給食。</p>
---	--	---



1月には、これから始まる1年を無事に過ごせるようにと願いを込めた、行事や行事食がたくさんあります。日本や地域、家庭に伝わる食文化を大切に受け継いでいきたいですね。



★1月10日の給食は、ごはん・牛乳・たまごトックスープ・みずなのおひたし・たづくりのお正月献立です。

★「トックスープ」は韓国風のお雑煮です。



世界の料理

◎今月の世界の料理は、1月21日に登場する「フォーガー」で、ベトナムの料理です。

◎「フォー」は、米粉をつかった平たい麺です。

「ガー」は鶏肉を意味しており、「フォーガー」とは、鶏のスープで仕立てた麺料理のことです。

◎ベトナムには、「フォー」以外にも、縮れ麺の「ブン」や、ベトナムの春雨「ミエン」など、色々な麺があります。